



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3443 URL <https://www.kawada.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	31,312	34.8	354	-	853	-	629	-
2023年3月期第1四半期	23,232	△8.3	△394	-	15	△99.0	△155	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 747百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 △38百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	107.13	107.06
2023年3月期第1四半期	△26.34	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	159,976	76,163	46.9
2023年3月期	162,158	76,697	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 75,058百万円 2023年3月期 75,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	-	-	210.00	210.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	200.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	133,000	12.6	4,600	△8.5	5,100	△19.0	3,900	△7.8	663.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	5,917,370株	2023年3月期	5,917,370株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	39,574株	2023年3月期	39,450株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	5,877,879株	2023年3月期1Q	5,892,729株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高31,312百万円（前年同四半期比34.8%増）、営業利益354百万円（前年同四半期は営業損失394百万円）、経常利益853百万円（前年同四半期は経常利益15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は629百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失155百万円）となりました。受注高につきましては27,768百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

(鉄構セグメント)

当セグメントの中の鋼製橋梁事業につきましては、受注高は高速道路会社の大型補修工事を受注できたものの、前連結会計年度に国土交通省を中心に受注が好調に推移したことで、応札に必要な配置予定技術者が逼迫し、応札案件の絞り込みを余儀なくされたことで前年同四半期を下回りました。売上高は、高速道路会社発注の大型新設工事の進捗が伸びたことや、当社独自の製品であるSCデッキ（合成床版）の製作が増加したことで前年同四半期を上回りました。損益面においては、新設工事と更新工事の一部大型工事において、発注者と設計変更協議を進めてきたものの、当第1四半期での設計変更の獲得までには至らず、結果として原価が先行したことにより前年同四半期を下回りました。

鉄骨事業につきましては、受注高は首都圏の大型再開発工事を受注できたことで前年同四半期を上回りました。売上高は、首都圏と関西圏の大型再開発工事が概ね順調に推移したことに加え、半導体関連施設の進捗も伸びたことにより前年同四半期を上回る結果となりました。損益面においては、一部大型工事で設計変更の獲得ができたものの、採算性が厳しい工事が進捗したことや原価が先行した工事があったことで前年同四半期を下回りました。

セグメント全体では売上高13,463百万円（前年同四半期比22.3%増）、営業損失175百万円（前年同四半期は営業利益594百万円）となりました。また、受注高は11,610百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

(土木セグメント)

土木セグメントにつきましては、受注高は新設工事と保全工事の大型工事で設計変更の獲得ができたものの、前年同四半期に高速道路会社発注の大型新設工事の受注があった反動で5,713百万円（前年同四半期比30.0%減）と前年同四半期を下回りました。売上高は、保全工事における設計変更の獲得ができたことに加え、新設工事が概ね順調に推移したことにより8,671百万円（同17.1%増）と前年同四半期を上回りました。また損益面につきましても、売上増加に加え、保全事業とプレキャスト事業の採算性改善が図られたことにより営業利益214百万円（前年同四半期は営業損失185百万円）となりました。

(建築セグメント)

建築セグメントにつきましては、受注高は関西地区と北陸地区において大型案件が受注できたことにより6,280百万円（前年同四半期比55.1%増）となりました。売上高は、多層階大型物流倉庫が概ね順調に進捗したことにより6,070百万円（同181.5%増）となりました。損益面につきましては複数の多層階大型物流倉庫において進捗が進むにつれ、コスト削減が図られたことに加え、発注者と協議を重ねてきた原材料価格上昇等に伴うコスト増加分について、設計変更の増額を獲得できたことにより営業利益569百万円（前年同四半期は営業損失354百万円）と前年同四半期から大幅に改善することができました。

(ソリューションセグメント)

ソリューションセグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き当第1四半期においてもソフトウェア販売事業を中心に好調に推移したことにより、受注高2,140百万円（前年同四半期比18.8%増）、売上高1,700百万円（同16.9%増）、営業利益613百万円（同57.0%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高は航空機使用事業においてドクターヘリや伊豆諸島間を結ぶヘリコプター「東京愛らんどシャトル」で伸ばすことができたものの、損益面は橋梁附属物の販売が前年同四半期を下回ったことによる悪化で、売上高は1,724百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業損失178百万円（前年同四半期は営業損失169百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」は159,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,181百万円(△1.3%)減少しました。これは主に、流動資産のその他(未収入金等)が1,749百万円、関係会社株式が488百万円それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が4,445百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は83,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,647百万円(△1.9%)減少しました。これは主に、流動負債のその他(未払金等)が3,034百万円増加し、短期借入金が4,080百万円、長期借入金が777百万円それぞれ減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は76,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ534百万円(△0.7%)減少しました。これは主に、剰余金の配当等により利益剰余金が604百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から46.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、2023年5月12日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,746	15,533
受取手形・完成工事未収入金等	69,206	64,761
未成工事支出金	120	140
その他の棚卸資産	1,254	1,361
その他	6,634	8,383
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	92,956	90,174
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,690	5,815
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	2,617	2,503
航空機(純額)	826	828
土地	14,957	14,957
リース資産(純額)	2,641	2,534
建設仮勘定	308	439
有形固定資産合計	27,042	27,079
無形固定資産	1,177	1,198
投資その他の資産		
投資有価証券	3,496	3,562
関係会社株式	35,522	36,010
繰延税金資産	1,220	1,205
その他	757	761
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	40,981	41,524
固定資産合計	69,201	69,802
資産合計	162,158	159,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,211	29,180
短期借入金	20,380	16,300
1年内返済予定の長期借入金	3,998	3,728
1年内償還予定の社債	680	680
リース債務	578	570
未払法人税等	1,104	230
未成工事受入金	4,631	7,273
前受収益	1,951	2,089
賞与引当金	2,061	977
完成工事補償引当金	67	90
工事損失引当金	1,777	1,594
その他	2,898	5,932
流動負債合計	69,341	68,646
固定負債		
社債	1,910	1,815
長期借入金	6,892	6,115
リース債務	2,341	2,233
繰延税金負債	120	126
再評価に係る繰延税金負債	1,474	1,474
役員退職慰労引当金	647	673
退職給付に係る負債	2,440	2,447
資産除去債務	132	132
負ののれん	73	68
その他	86	79
固定負債合計	16,119	15,166
負債合計	85,460	83,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,288	5,288
資本剰余金	10,778	10,778
利益剰余金	55,247	54,642
自己株式	△140	△141
株主資本合計	71,173	70,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,070	2,128
土地再評価差額金	976	976
為替換算調整勘定	1,163	1,163
退職給付に係る調整累計額	230	220
その他の包括利益累計額合計	4,441	4,489
新株予約権	1	1
非支配株主持分	1,079	1,103
純資産合計	76,697	76,163
負債純資産合計	162,158	159,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,232	31,312
売上原価	20,930	28,264
売上総利益	2,302	3,048
販売費及び一般管理費	2,696	2,694
営業利益又は営業損失(△)	△394	354
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	31
受取賃貸料	36	37
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	414	478
補助金収入	93	178
その他	37	28
営業外収益合計	612	761
営業外費用		
支払利息	48	93
賃貸費用	123	131
その他	30	35
営業外費用合計	202	261
経常利益	15	853
特別利益		
補助金収入	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	327	-
固定資産圧縮損	0	0
特別損失合計	328	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△312	857
法人税、住民税及び事業税	146	155
法人税等調整額	△293	1
法人税等合計	△147	157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△165	699
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	70
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△155	629

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△165	699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	45
退職給付に係る調整額	△15	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	13	9
その他の包括利益合計	126	47
四半期包括利益	△38	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25	677
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	34	—	39	135	208	817	1,026
一定の期間にわたり移転される財	10,823	7,310	2,117	1,248	21,500	660	22,161
顧客との契約から生じる収益	10,857	7,310	2,156	1,383	21,709	1,478	23,187
その他の収益	7	5	—	—	13	31	44
外部顧客への売上高	10,865	7,316	2,156	1,383	21,722	1,509	23,232
セグメント間の内部売上高又は振替高	142	87	—	71	301	53	354
計	11,007	7,404	2,156	1,454	22,023	1,562	23,586
セグメント利益又は損失(△)	594	△185	△354	390	443	△169	273

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	443
「その他」の区分の損失(△)	△169
セグメント間取引消去	△71
全社費用(注)	△688
その他の調整額	91
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△394

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	90	26	15	216	348	859	1,208
一定の期間にわたり移転される財	13,279	8,542	6,054	1,380	29,257	797	30,054
顧客との契約から生じる収益	13,370	8,568	6,070	1,596	29,605	1,657	31,263
その他の収益	7	12	—	—	20	29	49
外部顧客への売上高	13,377	8,581	6,070	1,596	29,625	1,686	31,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	90	—	103	280	37	317
計	13,463	8,671	6,070	1,700	29,906	1,724	31,630
セグメント利益又は損失(△)	△175	214	569	613	1,221	△178	1,043

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,221
「その他」の区分の損失(△)	△178
セグメント間取引消去	△79
全社費用(注)	△713
その他の調整額	103
四半期連結損益計算書の営業利益	354

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	12,475	44.2	11,610	41.8	△865	△6.9
土木	8,167	28.9	5,713	20.6	△2,454	△30.0
建築	4,049	14.3	6,280	22.6	2,231	55.1
ソリューション	1,801	6.4	2,140	7.7	338	18.8
その他	1,752	6.2	2,024	7.3	271	15.5
合計	28,247	100.0	27,768	100.0	△478	△1.7

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	11,007	46.7	13,463	42.6	2,455	22.3
土木	7,404	31.4	8,671	27.4	1,266	17.1
建築	2,156	9.1	6,070	19.2	3,913	181.5
ソリューション	1,454	6.2	1,700	5.4	245	16.9
その他	1,562	6.6	1,724	5.4	161	10.4
合計	23,586	100.0	31,630	100.0	8,044	34.1

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (2022年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	79,337	52.5	83,136	55.2	3,799	4.8
土木	48,018	31.8	46,141	30.7	△1,876	△3.9
建築	19,858	13.2	16,737	11.1	△3,121	△15.7
ソリューション	3,081	2.0	3,795	2.5	714	23.2
その他	698	0.5	691	0.5	△7	△1.1
合計	150,995	100.0	150,502	100.0	△492	△0.3

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。